

美浜町佐柿の国吉城（町史跡）が

『続日本100名城』に選ばれました！

～国吉城の歴史～

国吉城は、弘治2年（1556）に粟屋越中守勝久（若狭武田氏重臣）が築いたと伝わり、永禄6年（1563）、越前朝倉勢の侵攻を国吉城に籠城して撃退しました。以降、朝倉氏が滅亡する天正元年（1573）まで、ほぼ毎年攻めかかる朝倉勢を撃退し続け、「難攻不落」を誇りました。この戦いの様子は、軍記『国吉籠城記』に記され、江戸時代に広まりました。

元亀元年（1570）4月、越前侵攻に向かう織田信長の軍勢を迎え、信長、豊臣秀吉、徳川家康ら、後に天下統一を果たす三英傑が揃って入城しました。

天正11年（1583）、豊臣秀吉の家臣、木村常陸介定光が城主となり、戦う山城から領国を統治する大名の居城に大改修されました。城下町も整備され、今に残る佐柿の歴史的町並みの基礎が形成されました。

～続日本100名城～

続日本100名城は、公益財団法人日本城郭協会（理事長：小和田哲男静岡大学名誉教授）が、平成18年に制定した日本100名城に続くものとして、日本100名城と全く同じ基準を満たし、同じ価値を有しながら100名城に収まりきれなかった城郭から新たに選定したものです。数万におよぶ日本の城から、学術経験者をはじめ、協会会員、一般の城郭ファン等によって選ばれた500城を対象に、選定会議の審議を経て選出されました。

国吉城は、遺構の残存度、歴史的背景、発掘調査の成果、若狭国吉城歴史資料館の開館や地元佐柿区の取り組みなどが高く評価され、今回の選出に携わった多くの方々から、先行する日本100名城と同等の歴史遺産と認定されたものです。

【日本100名城選考基準(続も同等)】

- ① 優れた文化財・史跡
- ② 著名な歴史の舞台
- ③ 時代・地域の代表
- ④ 各都道府県から1城以上5城以内

【日本100名城(県内・平成18年)】

- No.36 丸岡城（坂井市）
No.37 一乗谷朝倉氏遺跡（福井市）

【続日本100名城(県内・今回)】

- No.137 福井城（福井市）
No.138 越前大野城（大野市）
No.139 佐柿国吉城（美浜町）
No.140 玄蕃尾城（敦賀市、滋賀県長浜市）

福井県 美浜町教育委員会事務局教育政策課

若狭国吉城歴史資料館

〒919-1132 福井県三方郡美浜町佐柿25-2

TEL:0770-32-0050 FAX:0770-32-0057